

第53回 全国社会人サッカー選手権愛知県大会要項

- 期 日 平成29年2月5日(日)より3月末まで
- 試合会場 愛知県下各グラウンド
- 参加資格
- 1) チーム
 - ・平成28年4月30日までに(公財)愛知県サッカー協会に加盟した第1種社会人を主体としたチームで(公財)日本サッカー協会社会人連盟に登録されていること。
(東海社会人リーグ加盟チーム、愛知県社会人リーグ加盟チーム、一次予選ブロック優勝の2チーム)
 - 2) 選手
 - ・大会初戦に試合会場で会場本部役員により承認されたエントリー表に記載された選手であり、且つ(公財)日本サッカー協会にチーム選手登録が完了している選手であること。
※選手証必須
※大会途中での追加選手エントリーは認めない
 - ・外国人選手は5名エントリー、試合は3名まで登録可能で2名まで出場可能。
 - ・移籍については、日本サッカー協会「選手移籍規定」に準ずる。
- 競技規則
- ・2016-2017年日本サッカー協会競技規則(改正後)のルールに準ずる。
- 試合時間
- ・40分-10分-40分 決しない場合はPK方式で勝者を決する。
※決勝戦のみ20分間の延長戦を行い決しない場合はPK方式で勝者を決する。
- 選手交代
- ・7名登録3名まで出場可能とする。
- 警告者・退場者の取り扱い
- ・所属リーグにおける最終戦時点での出場停止処分未消化の場合は、本大会で完全消化するまで本大会へは出場できない。
 - ・本大会で警告累積2回となった選手は次の1試合に出場できない。
 - ・主審より退場・退席を命じられた選手及びチーム役員は次の1試合に出場できないものとし、それ以降の処置については本大会規律フェアプレー委員会で裁定する。
 - ・試合出場停止処分が本大会で未消化となる場合、以後の公式戦に持ち越し消化する。
- 【規律フェアプレー委員】
杉浦幹根、西牟田明夫、相羽実
藤本善生、渡辺邦夫、境則之、杉本憲昭、阿部幸哉、榊原純
- ユニホーム
- 組合せ表 上のチーム「色」
下のチーム「白」を原則とする。(試合当日は2着用意)
- 審判
- ・1、2回戦の副審は、各チームの帯同審判で実施する。
 - ・審判資格4級以上で行い、審判証を会場本部役員に提示すること。
※審判証には写真が貼ってあること。
- その他
- ・第1試合の両チームでグラウンド準備
 - ・最終試合の両チームでグラウンド整備と後片付け
 - ・別紙選手エントリー表を初戦当日に必要事項記入の上、メンバー表と選手証と共に会場本部役員に提出すること。
※選手証は背番号順に並べるかカードケース等で背番号が容易に確認できるモノでまとめる事。
 - ・メンバー表は、4部作成し試合開始45分前までに、大会本部に提出すること。
(スタメン11名、控え選手7名、役員6名が記載できるモノを使用すること。)
選手証はメンバー表順(エントリー表の背番号順可)に並べてエントリー表・メンバー表と一緒に大会本部に提出する。
※名刺用ファイルなどで背番号順に整理されていれば可とする。
※選手証には写真が貼られていること。
 - ・大会期間中の事故(物損等含む)については、主催者側は一切責任を負わない。
 - ・参加選手の負傷については各チームで処置を行い、主催者側は一切責任を負わない。
 - ・各チームともスポーツ安全保険に加入すること。

- ・ 試合球は各チームから2球ずつ持ちより、4球で行う。
- ・ ベンチにはチーム役員6名、控え選手7名の13名以内とする。
- ・ 荒天や天災等により試合が行えない事態が発生した場合は抽選にて勝者を決定する。
- ・ 抽選は県協会から指定した場所で開催する。